



せいじ便り

号外

揺るぎなき挑戦!!

今後の経済・財政運営のあり方

年末の予算、税制改正の時期が近づくにつれ、財政再建か成長か各方面で議論になりつつあります。しかし、二つは相反するものではありません。次世代に負担を残さないよう財政再建を進めるのは当然のこと。しかし、同時に、財政再建の前提として成長が必要であることも肝に銘じる必要があります。例えば、税収も潤沢だったあのバブル時代、より積極的に財政再建を進めていれば800兆円もの借金を抱える状況は避けられたはずです。その教訓の上に、経済・財政運営を行なう必要があります。

思い出すのは、英國大蔵省出向中、ある会で「一緒にいたときのサッチャー英國元首相の言葉です。「資本主義は成長を通じて貧しい人を豊かにする、社会主義は豊かな人を貧しくする。豊かな人を貧しくしても、貧しい人が豊かになるわけではない」。資本主義の強みは成長にあります。そのため何ができるか。五点あると思います。

デフレ脱却

第一に、デフレからの完全脱却。給料が上ががらなければ経済も良くなりません。原油高騰などによる悪性インフレでなく健全なインフレ体质に戻すことが重要です。そのため日銀に更に頑張ってもらいたい。私も、自民党金融政策小委員会に参加して、政府と日銀が一定の物価目標を共有する仕組みなど、多角的に議論しています。

中小企業活性化

第二に、地域産業、とりわけ中小零細企業の活性化です。我が国434万企業のうち、99.7%が中小企業、雇用の7割以上が中小企業です。中小企業の活性化が日本経済の命運を分けます。経済産業部会委員、また税制の専門家として、年末の税制改正に向けて、中小企業の研究開発減税や人材育成減税、事業承継税制の実現に向け取り組んでいます。また、建築基準法改正などに見られるように、制度改正の影響が中小企業にシワ寄せされる事態を改めています。

成長促進のためのインフラ整備

第三に、成長を促進するインフラ整備の実施。ばら撒きは絶対駄目ですが、将来の成長につながる前向きなインフラ事業は、選択と集中の原則のもとで進めていく必要があります。例えば、大阪堺市では、新たな港湾建設をして港への道路も整備をした結果、シャープが工場を立地して一兆円もの投資をしています。九州中津港も国際ターミナルと周辺道路の整備によって、ダイハツが工場を作り五千人の雇用が生まれています。首都圏でも、三環状道路、羽田空港の拡張といったインフラ整備は不可欠です。とりわけ、我が多摩地域においては、生活道路・公共交通の整備が不可欠です。

セーフティーネットの確保

第四に、消費活性化のために、年金・医療などセーフティーネットに対する国民の安心感を取り戻すこと。喫緊の課題は、年金への信頼回復。厚生労働委員会委員として、年金記録問題や制度のあり方について、今後とも積極的に取り組んでいきます(詳しくは裏面参照)

働き方の見直し

第五に、働き方の見直し。人口減少のなかで、働く意欲ある高齢者の方や女性に活躍していた北大が必要があります。既に、定年延長の法律が成立していますが、高齢者の方が働きやすい環境を整備していくことが必要です。また、女性が働くためには、男性がもう少し家事を分担する必要があります。日本の男性の家事は一日当たり一時間に満たない、諸外国では三~四時間あります。有給休暇ももっと取れる体制を作ることも大切です。これらの点についても、厚生労働委員会委員として取り組んでおります。

シリーズ・年金制度①——年金問題の本質?

年金は世代間支えあえの仕組み

今年も、年金が国政の主要課題となりました。大変ご迷惑をお掛けしている年金記録問題については、政府において照合のためのコンピュータプログラムが稼動を始め、現在、照合作業が鋭意進められております。そうした中、年金制度そのものの根本的議論も各方面で行われております。

そもそも、年金とは何か。一言でいえば、定年などで働けなくなつた場合の所得保障と言えます。引退後の所得としては、①現役時からの蓄え、②子供など家族からの支援もあります。しかし、預貯金を出来るほどゆとりある人ばかりではありませんし、核家族化により家族からの支援も十分とは言えない状況です。そこに、年金の出番があります。



木原せいじは木原せいじの両親だけでなく全ての引退世代を支え、木原せいじの両親も木原せいや以外の全ての現役世代に支えてもらつ」仕組み、これが年金です。現役世代みんなで年金世代みんなを支えましょうというものです。

少子高齢化のインパクト

したがつて、現役世代が支払う保険料は、将来そのまま自分に戻つてくるものではなく、その時代の高齢世代を支えるためのものです。式に表すと、
(注)政府・与党は、2004年改正において、勇気をもって、保険料の段階的引き上げ、引上げ後の保険料固定、年金額のマクロ経済スライドによる調整、といふ限られた選択肢の実行を行つております。

バラ色の世界は?

ただ、忘れてならないことは、税であれ保険料であれ、少子高齢化という現実からは逃げられないということです。野党の部が主張するように、保険料方式から税方式に移せば、保険料負担もなくなり、税負担も増やす必要はなく、年金の数式がバランスするなどという魔法のような、バラ色の世界はありません(注)。いずれにしても、税か保険料のかの話、また、そもそも個人個人で保険料を管理する積立方式についても、次号以降でじっくり考えたいと思います。

代では2割強の方しか保険料を払っていない状況です。このため、保険料でなく税金で貯てはどうかとの議論が与野党を問わざります。保険料を払わない方も、税金なら逃げられないという発想です。

国民年金の保険料は3割以上の方が未納であり、20歳

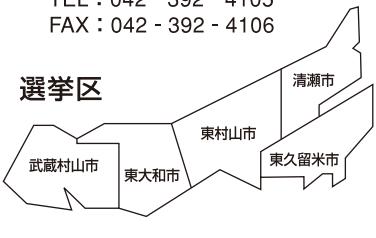


木原せいじ事務所

■国会事務所 〒100 - 8982
東京都千代田区永田町2 - 1 - 2
衆議院第2議員会館606号室
TEL : 03 - 3508 - 7606
FAX : 03 - 3508 - 3986

■地元事務所 〒189 - 0013
東京都東村山市栄町2 - 22 - 13
松岡ビル2階
TEL : 042 - 392 - 4105
FAX : 042 - 392 - 4106

選挙区



ボランティアを募集しています!

事務所内における事務、ポスター貼り、各種広報物の配布などお手伝いいただけるボランティアを募集しています。どんな事からでもかまいません。政治に興味があって、木原誠二の政治活動を手伝ってみようと思われる方は是非ご連絡ください。



国会見学に行きませんか?!

木原せいじ事務所では、随時、国会見学を受け付けています。友達や仲間とお誘い合わせの上、是非ご来館ください。少人数からでもお気軽にご相談いただければ結構です。テレビで報道される国政の生の現場をご案内します。



木原せいじ プロフィール



- ・私立武蔵中学・高校、東京大学法學部卒業
- ・大学時代はテニスで全国選抜3位
- ・平成5年大蔵省(現財務省)入省、主計局、大臣官房、国際局課長補佐、税務署長歴任
- ・その間、英國大蔵省出向(初代)
- ・平成17年9月 衆議院選挙当選
- ・現在、厚生労働委員会、内閣委員会、拉致特別委員会、各委員。党では、国際局次長、青年局次長、女性局次長、学生部参与。
- ・趣味はテニス・ピアノ・散歩。座右の銘「至誠通天」。
- ・著書「英國大蔵省から見た日本」(文春新書)